

学校だより

令和6年3月号

☎04-2958-2718



いるまの

<学校教育目標>

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子

季節は巡り、巣立ちの時

校長 宮原 ひろのり 礼典

先月は、雪がちらついたと思ったら25度に迫る初夏を感じさせる陽気になるなど、まさに三寒四温とはよく言ったものです。また、先日は春の訪れを告げるかのように、朝から強風が吹いていて、登校指導で「おはよう！」と声をかけるのにも一苦労でした。着実に春は近づいてきています。

いよいよ一年のまとめの月、三月を迎えました。本年度最後の懇談会には、ご多用の中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。「一人一人が大切にされる学校」を、保護者の皆様、地域の方々のお力をお借りして目指し、「仲よくする子 考える子 やりぬく子」の育成に努めて参りました。この目指す児童の姿を、卒業証書を受け取った卒業生の姿、また修了証を受け取った在校生の姿でお示したいと考えています。

いよいよ6年生にとっては、最後の1か月となりました。入間野小学校で過ごせるのも、残すところ今日を含めてあと15日です。

この1年間は、始業式前の準備登校からはじまり、入学式の参列、ミニバス大会、運動会、市内体育大会、修学旅行、いるまのスクールフェスタ…など数多くの行事を粛々行ってきました。また、常時活動である委員会活動を精力的に行い、クラブ活動では、4・5年生をリードして楽しく活動していました。なかよしタイム（縦割り活動）では、下級生に気を配りながら、みんなで楽しく遊べる活動を考えてくれました。

とても素敵な6年生が卒業してしまうのはたいへん寂しいのですが、残された在校生・教職員で今まで通り、それ以上の優しさで溢れる入間野小学校を作っていきます。卒業生のみなさんは、安心して巣立ってください。

私が6年生を担当した時は、卒業する子供たちに様々な曲に想いを乗せて贈ってきました。GReeeeNの「キセキ」やレミオロメンの「3月9日」、flumpoolの「証」やEXILEの「道」などです。曲を聴くとその時代を思い出し、教え子の顔が浮かび懐かしくなります。今年の卒業生にどんな曲を贈ろうかといういろいろ悩みましたが、レミオロメンの「もっと遠くへ」にしました。この曲は、北京オリンピックのテーマソングで、西武ライオンズの源田壮亮選手の登場曲にもなっています。特にラストのサビの部分が、これから未来へと進んでいく卒業生に私からの想いを伝えてくれている歌詞です。これから様々な困難に出会うと思います。その度に辛く苦しい時間を過ごすことにはなりますが、自分で決めたことを諦めず進んでほしい。でも、それで潰れるのではなく違う答えもあります。大切なのは全力を尽くすこと。自分で限界を作らず「もっと遠くへ！」大きく羽ばたいてください。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力により、滞りなく学年末を迎えることができました。ありがとうございました。教職員一同心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。



もっと遠くへ

～ラストのサビ～

諦めないで その心が
決めた道を走り抜けて
強い風が吹いた日こそ
誰よりも 速く 強く 美しく
駆け抜けてよ 夢の中を
光の方へ 闇を裂いて
きっと答えは一つじゃないさ
あらゆる全力を尽くして行くのさ
もっと遠くへ